

# ティーチング・ポートフォリオ



大学名 東京都市大学

所属 環境創生学科

名前 史 中超

作成日 2022年8月29日

## 1. 責務

環境創生学科に所属し、学部講義科目、大学院講義科目、事例研究、卒業研究、大学院研究指導等を担当している。学部講義科目では、SDPBL（1）（2）（オムニバス）を分担し、2年生向けの「画像処理技法」（選択）と「地理情報システム」（環境創生学科は必修、環境経営システム学科は選択）および3年生向けの環境モニタリング技術（選択）を担当している。大学院科目は「都市環境モデリング」を分担している（日本語・英語）。スマート・エコシティ研究室として、安全安心快適な社会の実現にむけて、事例研究、卒業研究、大学院生の指導を行っている。また、環境学部長を務めている。

## 2. 理念

大学と学部学科の理念をベースに、“社会のニーズに合わせて地域から地球規模に及ぶ環境問題を科学的に捉え、持続可能な社会の構築に貢献できる即戦力のある環境人材の育成”を理念として、教育研究活動を実践している。その理念の実現に向けて、以下の方針を定め、実践している。

方針1：情報の収集・整理・適応の能力を身につけさせている。情報があふれている現代社会では、必要な情報の収集と整理、さらに、有用な情報の抽出と活用もとても重要である。授業や事例研究、卒業研究では、これらのことを意識して教えている。

方針2：授業では、様々なソフトを用いた演習を取り入れている。知識への理解度を高める効果だけでなく、ITスキルの向上やDX※1人材育成にも貢献できる。

方針3：学生の思考力、行動力、適応力を向上させる取り組みを行っている。当たり前のことを当たり前とせず、問題発見、解決手段の探索方法などを身につけさせている。

方針4：都市大のブランドの向上にも繋がる学生の就職の満足度・即戦力を向上させている。内定を取ることを目的とせず、もっとも就職したい会社の内定を取ることを目標とし、細かく指導を行っている。

## 3. 方法

- ① すべての授業は座学と演習1対1で構成されており、座学で学んだ知識を演習で実践し、内容の理解を深めることができるだけでなく、応用力・適応力の向上やDX人材育成にも役に立てる。
- ② 座学ではレポート課題、演習では演習課題を毎回出すことで、学生の学習状況や理解度の確認ができ、学生指導や授業の改善に活かされている。
- ③ 学生の多様性やPCの操作などに苦手な学生にも配慮し、授業では、コンピューターの基礎知識や基本操作などを取り入れることなど授業の構成や内容を考え、進めている。
- ④ Teamsやメールを活かし、質疑応答の対応を行い、学生の満足度の向上に繋がっている。
- ⑤ 事例研・卒研テーマは与えない。事例研では、学生一人一人に対して、問題発見からテーマ探しのプロセス（興味のある研究のキーワード（例：地球温暖化や少子高齢化問題）から具体的な問題を整理させたうえで、研究テーマを決めていく過程）を教えながら、各自で決めてもらうように指導している。また、事例研の成果として、一人10ページ以上の

論文の提出をさせている。卒研では、より深く研究を進めるため、グループの形成を推奨している。

- ⑥ 授業や研究室学生指導では、WBS（ワールドビジネスサテライト）というテレビ番組を見ることを強く推奨している。企業や経済、社会トレンドなどの情報収集や就活などに役に立てる。
- ⑦ 3年生・M1の就活の支援策として、履歴書作成のアドバイスや就活出前講座の企画、インターンシップ企業の紹介、企業情報の収集の指導などを行っている。
- ⑧ オンライン合同ゼミの開催で、学生のコミュニケーションを図っている。コロナ以来、ゼミ合宿はできず、先輩後輩の交流が難しくなっている。そのため、オンライン合同ゼミ等を企画して学生同士の交流を促進している。

#### 4. 成果

- ① メディア授業のツールを使いこなす工夫をした結果、Teams等で学生とのコミュニケーションもとりやすくなり、学生の満足度の向上に繋がったと実感している。また、紙媒体の資料の配布も必要なくなり、環境にやさしい省資源取り組みにもつながった。
- ② 2021年度の授業評価アンケートでは、「講義、演習ともに分かりやすい」や「将来社会に出たときも役に立ちそうなのでこの授業を取ってよかった」など数多くの肯定的なコメントが寄せられてきており、2021年度ベストレクチャー賞を受賞した（2022年度9月16日表彰）。
- ③ 事例研究の段階でしっかりとした研究を行わせ、論文作成を訓練させたことで、学生が自信を持って就活などを進めることができ、最近の数年間にわたって研究室所属の学生・大学院生の就職・進学率が100%を保っており、今年度の4年生では、10名のうち3名が学校推薦で内定を獲得しており、そのうち、超難関企業も含まれている。

#### 5. 目標

- ① 社会のニーズ・トレンドに合わせ、考える力をさらに向上させるために、授業資料・課題を見直しいく。
- ② 質問・議論しやすい環境づくり
- ③ DX※1とSX※2人材育成

※1：DX：デジタル・トランスフォーメーション

※2：SX：サステナビリティ・トランスフォーメーション

#### 【添付資料】

★1 地理情報システムシラバス（代表）

★2 授業アンケート集計結果（2021年度） 3科目